1992年７月15日発行（隔月奇数月発刊）　点訳通信５号

点訳通信　第５号

1992.7.15

盲人情報文化センター

私の点訳ライフ

井上眉美

この春、本の打ち上がりを楽しみに、「よみ」を調べてくれていた父がなくなった。心当りの本を丹念に調べて、その故事来歴から自分の思い出にまで話が長くなるのには閉口したが晩年にはそれが父の大事な仕事の一つになっていた。訂正の容易なパソコン点訳になってからは、こちらで調べれば早いと思っても、父の気のすむまで時間をかけて調べてもらっていたのは少々の親孝行のまねごとになっていたのかもしれない。

今はその代りを夫がやってくれているが、生来の教えたがりの上に、雑学博士を自称しているので、「これは常識だよ」などという口の悪いのを気にしなければ便利な存在だ。

漢文や古文のよみ下しは調べようのないことも多いが、これにはもう米寿に近い、学生時代の恩師がいて下さる。こちらも「よみ」だけでなく丁寧な解釈が達筆で返送されて来て、時には私の字についての誤りの指摘まであって、赤面しながら感謝することになる。その解釈の方も、いゝかげんに読み流していると忘れた頃に同窓会などで質問されたりするので油断が出来ない。

何にしても、真実を知ることは楽しいことだから、いろんな分野にいる友人達も、「何？今頃」などといゝながら、私に何かきかれることを楽しみにしてくれているのだろうと思う。

近頃は「我以外みな師」という言葉が身にしみて感じられるようになったが、殊に点訳を通じてのつながりは、勿論知識だけでない、本物の師を思うことが多い。そしてそれを持つことの幸せが、私の点訳の力になっていることを思う。

点訳Ｑ＆Ａ

Q　「……もの」の分かち書きについて教えて下さい。続ける場合と区切る場合の区別がつきません。

A　最終校正をしていて、あなたと同じように感じておられる方が以外多いのに気づいていました。また、電話でも同じご質問をよく伺います。理屈としては、助詞の「もの」は続け、名詞の「もの」は区切るのです。「もの」を「から」などの助詞に置き換えたり省略したりしても文が成り立つ場合は助詞ですから続け、そうでなければ区切ります。

□　続ける例　□

「若いんだもの大丈夫」「女ですもの夢をみる」「大丈夫よ、私にもできますもの」「いいもん、お母さんに言いつけてやるもん」

□　区切る例　□

「食べるものを下さい」「最近の若いものには困ったものだ」「意見はハッキリいうものですよ」「英語のできるものを派遣します」「恋というものは不思議なものだね」「できますものはあんこうのようなもの」「分かるもんかと諦めた」「そんなもんほっときなはれ」「巨人に負けてたまるもんか」

校正室をご利用下さい

５階左奥の会議室では、毎週火・金曜日、今春講習会を終了した点訳者がペア校正をしておられます。先輩の沢田裕子さんにも加わっていただき、分からないことは、お互いに相談したり、沢田さんの助言を求めたりしながら読み合わせをしておられます。このような形の集団ペア校正をおすすめします。点字・墨字のプリンターの音に煩わされることもなく、複数のペアが智恵を持ち寄っての読み合わせは、効果的でもあり楽しくもあるようです。他の曜日はほとんど利用されていないので、どうかご活用下さい。

英語点訳に挑戦してみませんか？

毎日新聞社会事業団主催の外国語点訳講習会が行われます。講習の目的は、大学生の教材など外国語の学術参考書の点訳を促進することです。

定員の関係もありますので、挑戦される方は係りまでお申し出下さい。なお、他グループの方は、９月になりましたら当センターにお申し出下されば要綱をお送りしますのでお申込下さい。

日時　：　10月２日から12月４日（毎金曜日）　10時半～12時
講師　：　パルモア学院講師戸井美智子さん
定員　：　10名

下調べにご利用下さい

点訳の下調べは、案外時間のかかるものです。迷惑をお掛けしておりましたが、７階の辞書コーナーを整理致しました。今まで録音ボランティアの方々の憩いの場所と同居しており、利用しずらい雰囲気もありましたが、このたび完全に分離いたしました。場所は今までと同じ所ですが、辞書調べ専用コーナーですのでご遠慮なくお使い下さい。何かお気づきの点がありましたらご遠慮なくお知らせ下さい、改善いたします。また、必要な辞書もあわせてお聞かせ下さい。予算の範囲内という限定はありますが出来るだけ購入いたします。

「ＢＥ」バージョンアップの予告

６月３０日、７月１日の両日、東京の浜松町で「てんやく広場」の総会が催されました。日本ＩＢＭの「おんぶにだっこ」と過保護にも等しいご支援のおかげで、何とか所期の成果をあげることが出来ました。これもひとえにＩＢＭのおかげだと感謝しております。しかし、この契約も来年の８月で一応切れ、一人立ちしなければなりません。今回はそのための準備のための会合でした。この中で点訳ソフト「ＢＥ」のデモがありました。今回の改良の最大点は図表が簡単に書けるということです。今後さらに使い勝手を改良して秋には皆さまの手元にお届け出きると思います。教科書など図表の多い図書は大変な威力になると思います。なお、まことに申し訳有りませんがこの機能は「ＪＸ－５」を利用の方は使用できません。図表の部分だけ来館いただいてこちらの３階にパソコンで作製していただくなど運用の面で工夫したいと思います。

投　　書

うっとうしい梅雨に入りました。でも私は雨の日に心静かに点訳するのが好きなんです。ところがこの心に反していくら頑張ってみてもパーフェクト点訳が出来なくて恥しい思いをしています。

ルール改訂されてはや一年になりますがつい迷ってしまったりなかなか頭の中に入らなかったりスムーズに点訳出来ない時もたびたび有ります。

それで一度勉強会（先生方、先輩ボランティアの皆様の豊富な経験・知識・ポイントアドバイス等を聞かせていただける会）を開催していただければと思います。無理なお願いでしょうか　パソコンに向いながら試行錯誤しているこんな私に愛の手を！　お願いしまーす。　　Ｔ．Ｋ．

＜＜係りより＞＞

分かち書きのルールが変わり、お迷いのことも多いと存じます。ご提案の勉強会、さっそく計画したいと思いますがなかなか日がとれません。少し先になりますが、９月３０日水曜日を１回目の勉強会としたいと思います。多くの参加をお待ちしております。

なお、マスアケに関しては水谷・森、パソコンに関しては木村までご遠慮なくお尋ね下さい。また、『Ｑ＆Ａ』コーナーへの投書や、３階の『ご意見箱』への提案などどしどし下さい。

記

日付：　９月３０日　水曜日
時間：　１３時　～　１５時　（場合によっては延長あり）
ﾃｰﾏ　：　(1) 複合語の分かち書きの復習
　　(2) 何でも相談コーナー

パソコン点訳講座５

このコーナーも５回目をむかえることになりました。点訳ソフトを全然使っていない者が、しかも時間に追われて、発刊日ぎりぎりに書いていますので、思い違いや、不十分な説明があるかと思います。

さて、このたび、下記のご指摘をいただきました。有り難うございました。点訳ソフトに触れる機会がない関係上、この様なご指摘がなければいつまでも間違ったまま憶えております。従って、今回のような具体的なご問題提起は本当に有り難いものです。どんな小さなことでも結構ですので、間違いや表現のおかしいところは、どしどしお教え下さい。

点訳通信で気のついたこと

第２号

Ｐ－11　「先頭が２マス以上……」となっていますが、１マス以上空いていれば、ワードラップしません。（第４号の記事も同じ）
なお、記事の中で「先頭」或は「先頭行」とありますが、表記法やてびきでは「行頭」と表現しています。

第４号

Ｐ－14　「指定頁に移動」のとき、指定するページは、「ステータスライン左上の～Ｐで移動する」ことを付け加えたら？

◎提案

これからパソコン点訳を始めたいと思っている人の為に「やさしいパソコンＱ＆Ａ」（例えば）の欄を設けては如何でしょう。

Ｑの例　（ハード面）

- ○　２ＨＤと２ＤＤ
- ○　５インチと３．５インチ
- ○　１６ビットと３２ビット
- ○　ＭＳ－ＤＯＳを買う必要があるか
- ○　ワープロ機で使えるか？
- ○　パソコンの種類と値段　（点訳専用、多目的）
- ○　パソコンに必要な付属品は？
- ○　すみ字プリンター（熱転写、インパクト、インクジェット紙のサイズと形etc.）

Ｑの例　（作業面）

- ○　パソコン電源の入切
- ○　フロッピーディスクの出し入れ
- ○　ディスクのフォーマットのしかた
- ○　始めてのＢＡＳＥソフトを使うとき　（別冊が良いか？）
- ○　パソコン内の年月日、時刻の合わせ方
- ○　システムディスクとは
- ○　ファイル名の決めかた

訂正とお詫び

「点訳通信で気づいたこと」でご指摘の通り先頭が１マス以上空いておればワードラップしません。従って下記の通り訂正して下さい。

【誤】
『ＢＡＳＥには［改行］を現すマークがありません。先頭が２マス以上空いていると、改行されたものと判断します。従って、表紙や図形など文章と違ったものを作る場合は、先頭行を２マス以上空けておいた方が無難です。文字を挿入したり、削除したりすると折角作成した囲みが、ものの見事に崩れ、何が何だかわからなくなります。』

↓

【正】
『ＢＡＳＥには［改行］を現すマークがありません。先頭が１マス以上空いていると、改行されたものと判断します。従って、表紙や図形など文章と違ったものを作る場合は、先頭行を１マス以上空けておいた方が無難です。文字を挿入したり、削除したりすると折角作成した図表が、ものの見事に崩れ、何が何だかわからなくなります。』

目次の作成

目次の作成には案外時間がかかります。皆さまはいかがされていますか。本の形態により色々な方法が考えられますが、ここでは代表的な方法を書きます。これ以外に良い方法があればお知らせ下さい。このコーナーは皆さまの実践談などの交流の場にして行きたいと思います。いろんな意見をお待ちしております。

(1) ＢＥの場合

検索機能を使用

原本に点訳ページを控えていても、修正や編集を加えるとページ数が変わってくることがあります。最終的にはもう一度点訳ページを確認して目次を作成しなければなりません。

見出しを探し出す方法として検索機能がありあります。見出しを検索してページを控え、目次にページを入れます。

検　　索

ＢＥ（３０Ｚ）の場合　　［命令キー２］
ＢＥ（ＪＸ－５）の場合　［ＰＦ２］

(1) 命令キー２を押すと次のメッセージがでます。

```
+====== 検索 ==========================================================+
| 入力された文字列を検索し、もし見つかった場合は現在位置を            |
| その位置に移動します。                                              |
|                                                                    |
| 検索する文字列：［_____________________________________］          |
| 検索する時は↑↓のキーで検索する方向を指定して下さい。               |
+====================================================================+
```

(2) 見出しの最初の単語、数語を入力します。本文中によく出てくる単語が頭に出てくるときは、２～３語入力します。これで不必要なものを検索せずにすみます。

［例］見出しが「ディスケットの初期化」の場合は「ディスケット」だけの文字列検索では本文中に出てくる文字も検索してしまいます。少なくとも「ディスケットの」まで入力すると「～は」「～が」「～も」などを検索せずにすみます。もちろん無精せず「ディスケットの初期化」すべての文字を入力すればもっと確実です。

(3) ↓↑を押す。
「↓」はカーソルのある位置より後方を「↑」はカーソルのある位置より前方を検索します。

(4) ページ数を控えます。

見出し語検索機能を使用

見出し語が多い場合は「見出し語検索」を利用します。見出し語検索機能とは行頭が４マス以上空白がある行をすべて検索します。見出しが４マス以上あけているときに有効です。この機能は上記の検索のうち検索語を『空白４語』に限定した機能と言えるでしょう。但し、ＪＸ－５では使用できません。

見出し語検索

［青］＋［命令キー１１］

(1) ［青］と［命令キー１１］を同時に押します。

(2) 行頭が４マス以上あいている見出しと思われる行を探し出します。

(3) さらに［青］と［命令キー１１］を同時に押し検索を続けます。

［注］行頭が４マス以上あいている行をすべて探し出します。従って見出しが少ない場合は非能率的です。文字列検索を利用しましょう。

(2) ＢＡＳＥの場合

ＢＡＳＥには自動的に目次を作成する機能があります。目次の自動作成と言っても内容を考えてするのではなく、行頭の空白マス数を指定して行いますので、見出しとは違ったものを拾ってくることもあります。目次ではないものを検索した場合は行削除し体裁を整えます。

手順は次の通りです。

①目録の自動作成
②切り出した見出しの編集
③本文に差し込む

目録の自動作成

(1) ＢＡＳＥを終了させ、ＭＳ－ＤＯＳに戻す。（「Ａ＞」が表示される）

(2) A>BNDX ［オプション］入力ファイル名　［ドライブ［パス［目次ファイル名］］］

［注］1)入力ファイルは、ＢＡＳＥで点訳されたデータを指定します
拡張子は不用で　す（もちろん、付けてもかまいません）。
2)目次ファイル名は省略可能です。省略した場合は、入力ファイル名の最後に［#]を付加した名前を目次ファイル名とします。入力ファイル名の長さが８文字　一杯のときは、８文字目を［#]に置き換えます。
3)出力先に，ドライブ名やパス名だけを指定しても、上記と同じように、出力先　のファイル名が作成されます。
4)通常の使用では、入力ファイル名のみを指定し、出力ファイル名は省略したほうが使いやすいと思います。

［例］ファイル名「ＡＢＣ０１」の目次をつくる場合は
A>BNDX ABC01［改行］で、目次ファイル「ＡＢＣ０１＃」が作成されます。

(3) 出力先に、出力ファイル名と同じ名前のファイルがある場合は、「<<ファイル名>>があります。消していいですか［Y/N］？」と表示されます。消してもいい場合は、[Y]を入れて、[ﾘﾀｰﾝ]キーを押して下さい。[Y]以外のキーを押すと「中止します」と表示して、処理を中断します。

(4) 処理が開始されると、
「目次作成中 ″ファイル名″ .....」と表示され、すぐに目次の作成が終了します。

［注］目次データとして取り込む行は、行頭から３マス以上の空白がある行ですが、目次データとする行頭からの空白の数は、「/ 」（スラッシュ）に続けて数字を指定して変更することができます。

［例］A>BNDX /6 ABC
ABC.BSE というデータの中から行頭から６マス以上の空白がある行を目次の行とみなして ABC#.BSE という目次ファイルを作ります。

(5) ＢＡＳＥを立ち上げ、今作成した目次ファイルを校正する。

(6) 校正が終わったら［ｆ・１］でデータを保管する。

(7) 本文を読み込む。
［ESC］　→　［0］　→　［ﾘﾀｰﾝ］で呼び出せます。

(8) カーソルを本文の先頭に置く。

(9) [CTRL]＋[f･2]で目次ファイルを差し込む。
1)[CTRL]＋[f･2][ﾘﾀｰﾝ]
2)[ﾘﾀｰﾝ]　→　ファイル名一覧が表示される
3)目次ファイルにカーソルを合わせる
4)[ﾘﾀｰﾝ]
5)表題紙と本文の間に目次が挿入される。

つづく

<<<<<　-----　>>>>>

３階のパソコンは自由にお使いいただけます

点字の入力・修正、データの変換、墨点字の打ちだし、点字の打ちだしなど、すべて自由にお使い下さい。操作方法の分からないときはご遠慮なく木村までお尋ね下さい。

従来のパソコン点訳の方法以外に、英語点訳の知識のない方にも英語の点訳が出来るソフトもあります。「こんなことが出来たら、いいのになあ～」と思ったときはご相談下さい。何か解決方法があるかも知れません。出来るだけ皆さまに使いやすく、能率のよい点訳環境を整えたいと思っています。ご意見、提案がありましたらどしどしお知らせ下さい。

なんでも相談室「かな」？

「空気と水はただ」という時代は終わりました。安全な水や空気を得るためにはお金と努力が必要です。冷たい井戸水や、ミネラルたっぷりの小川の水はもう望めないのでしょうか？

◎大阪市下水道史料館　06-967-5021　〒536 大阪市城東区中浜 1-17-10 下水処理場内
開館：10:00-16:00　休館：土日祝日、年末年始　無料
交通：地下鉄緑橋駅
下水道の仕組みを分かりやすく解説。なにわ大放水路などの模型や、昔の道具類を展示。

◎大阪市水道資料館　06-322-0573　〒533 大阪市東淀川区柴島 1-3-14 柴島浄水場内
開館：10:00-16:00　休館：日祝日、年末年始　無料
交通：阪急千里山線柴島駅
１９８９（明治28）年創設。水道に関係する物品及び関係図書資料を収めている。

◎神戸市　水の博物館　078-351-4488　〒652 神戸市兵庫区楠谷町 37-1
開館：9:30-16:30　休館：月曜日、年末年始　入館料：２００円
交通：三宮そごう百貨店北側のバス乗り場から市バスで楠谷町下車
JR神戸駅バスターミナルから市バスで楠谷町下車
神戸市の奥平野浄水場に開館した水の科学博物館。施設は新しいが、建物は1917（対称）年河合浩蔵氏の設計による急速ろ過池上屋を改修したもの。展示のテーマは「水の不思議」「水のめぐみ」「水道のしくみ」の３つにまとめられ、楽しみながら学べる４０点の常設展示場がある。構内の芝生は家族連れでくつろげるし、新進作家の彫刻が目を楽しませてくれる。

◎琵琶湖疎水記念館　075-752-2530　〒606 京都市左京区南禅寺草川町17
開館：9:00-17:00　休館：月曜日、年末年始　無料
交通：京阪京津線蹴上駅／市バス法勝寺町
琵琶湖疎水工事関連の図面、絵画、工事にかかわった人びとの苦労をしのばせる資料を展示。インクラインの模型、水力発電に使用された水車、発電機の実物などがある。

⊗　掲　示　板　⊗

・点訳ソフト「ＢＡＳＥ」が新しくなっています。昨年度以前にお渡しした方は、システムディスクをお持ち下さい。プログラムを書き換えします。

・３階の校正机の上にキャンディーを置いています。校正で疲れた喉をいやして下さい。

・ＩＢＭでは漢字仮名混じりの文章を点字に変換するソフトを開発中です。すでに同様のソフトが他でも開発されていますが、どれも１００％の変換は望めません。今回のＩＢＭソフトはどの様なものになるのか今から楽しみです。

・３階のレイアウトを小幅ながら変えました。辞書やマニュアルは入口から入って右側の点訳原本を配架している書架に集めました向かって、左から２番目のハンドルを回して下さい。

・１年間に出版される図書は約３万７千タイトル。おおよそ、１日に１００タイトル出版されている勘定です。ちなみに昨年度情文で製作した点字図書は１８３タイトル。墨字図書のわずか２日分弱です。今年度は最低で１割り以上増やしたいと考えています。平均一人１年に２タイトル以上点訳いただければ、可能です。
また、出来るだけ早く利用者に提供出来るよう、本の種類にもよりますが、通常の本で６ヶ月以内を目標にしていただければ幸いです。色々、お願いばかりで恐縮ですが…。

・皆さまのご意見をお待ちしています。３階、点字フロアーの「意見箱」までお寄せ下さい。

⊗ ～自由に記入して下さい。６時間たった場合は消すことも!～⊗